

## 漢字検定準1級(H12, H16~H25, オフィス海) 四字熟語問題出題統計

四字熟語	よみ	出題頻度	意味
鳩首凝議	きゅうしゅぎょうぎ	9	額をつきあわせて熱心に相談すること。
欣喜雀躍	きんきじゃくやく	8	大喜びすること。
啐啄同時	そったくどうじ	8	逸することのできない好機。また、熟した機をとらえ悟りに導くこと。
猪突猛進	ちよとつもうしん	8	目的にむかってがむしゃらに突き進むこと。
甜言蜜語	てんげんみつご	8	蜜のように甘く聞いていて快い言葉。
旭日昇天	きょくじつしょうてん	7	非常に勢いが盛んなこと。
虚心坦懐	きょしんたんかい	7	心にわだかまりがなく、気持ち素直でさっぱりしていること。
鷄鳴狗盜	けいめいくとう	7	つまらないことしかできない人のたとえ。また、つまらないことでも何かの役に立つことがあるというたとえ。
獅子奮迅	ししふんじん	7	猛烈な勢いで活動すること。
紫電一閃	しでんいつせん	7	刀剣などがきらめく形容。転じて、きわめて短い時間。
長汀曲浦	ちょうていきょくほ	7	はるかに続いている海岸線。
沈魚落雁	ちんぎょらくがん	7	はなやかな美人の形容。
不俱戴天	ふぐたいてん	7	この世にともに生存できないほど恨みや憎しみが深いこと。
阿鼻叫喚	あびきょうかん	6	非常に悲惨でむごたらしいさまのたとえ。
一蓮托生	いちれんたくしょう	6	事のよしあしにかかわらず行動や運命をともにする意。
鳶飛魚躍	えんぴぎょやく	6	自然の本性に従いおのずから楽しみを得ることのたとえ。
臥薪嘗胆	がしんしょうたん	6	目的を達成するために機会を待ち、苦勞を耐え忍ぶこと。
玩物喪志	がんぶつそうし	6	無用なものに熱中して、本業がおろそかになること。
規矩準繩	きくじゅんじょう	6	物事や行為の標準・基準となるもの。
魚目燕石	ぎょもくえんせき	6	本物とまぎらわしい偽物のこと。また、偽物が本物の価値をそこなうこと。
牽強附会	けんきょうふかい	6	道理に合わなくても、自分の都合のよいようにこじつけること。
捲土重来	けんどちょうらい	6	一度失敗した者が、再び勢いを盛り返して巻き返しをすること。
狐狸妖怪	こりようかい	6	人間をだましたり怖がらせたりする悪い生き物や化け物のこと。また、ひそかに悪事を働く者のたとえ。
自家撞着	じかどうちゃく	6	同じ人の言動や文章が前と後で矛盾していること。
四面楚歌	しめんそか	6	周囲のすべての人から非難されていることのたとえ。
周章狼狽	しゅうしょうろうばい	6	思いがけないことに出あって、あわてふためくこと。
象箸玉杯	ぞうちよぎよくはい	6	ぜいたくな生活をする事。
張三李四	ちょうさんりし	6	ごくありふれた平凡な人のたとえ。
天佑神助	てんゆうしんじょ	6	天のたすけと神のたすけ。
拔山蓋世	ばつざんがいせい	6	非常に威勢が強いこと。また、気性が勇猛盛んなこと。
鵬程万里	ほうていばんり	6	遠大な道程のたとえ。海が限りなく広がることの形容。
亡羊補牢	ぼうようほろう	6	失敗したあとで改めることのたとえ。
孟母断機	もうぼだんき	6	学問は途中で放棄してしまっはなんにもならないという教え。⇒断機之戒
魯魚章草	ろぎょしょうそう	6	文字の書き誤り。
阿附迎合	あふげいごう	5	人に気に入られようとしてへつらい、おもねること。
一顧傾城	いっこけいせい	5	絶世の美人のたとえ。
鎧袖一触	がいしゅういつしよく	5	相手を容易に打ち負かしてしまうたとえ。
赤手空拳	せきしゅくうけん	5	なんの助けもかりずに独力で物事を行うこと。
前途遼遠	ぜんとりょうえん	5	行く先の道のりがはるかに遠いこと。
千篇一律	せんぺんいちりつ	5	多くのものが、どれも変わりばえがなくて面白みに欠けること。
剃髮落飾	ていはつらくしよく	5	髪を剃って出家すること。
道聽塗説	どうちょうとせつ	5	学問や知識を正しく理解しないで、いいかげんに知ったかぶりをして他人に話すこと。
兔角亀毛	とかくきもう	5	この世にありえないもののたとえ。
頓首再拜	とんしゅさいはい	5	頭を下げてうやうやしく礼をすること。
百尺竿頭	ひゃくせきかんと	5	到達できる最高点のこと。また、向上しうる最高点のこと。
不惜身命	ふしゃくしんみょう	5	自分の身をささげて惜しまないこと。
捧腹絶倒	ほうふくぜつとう	5	腹をかかえて大笑いすること。
泡沫夢幻	ほうまつむげん	5	人生のはかないことのたとえ。
暮色蒼然	ぼしょくそうぜん	5	夕暮れどきのあたりが薄暗くなっている様子。

## 漢字検定準1級(H12, H16~H25, オフィス海) 四字熟語問題出題統計

盲亀浮木	もうきふぼく	5	出会うことがきわめて難しいこと。
邑犬群吠	ゆうけんぐんばい	5	つまらない者どうしが集まって、あれこれ騒ぎたてること。
羊質虎皮	ようしつこひ	5	外見は立派だが中身がないこと。
羊頭狗肉	ようとうくにく	5	見せかけはりっぱでも実質が伴わないこと。
落筆点蠅	らくひつてんよう	5	過ちをうまくとりつくろうこと。
綾羅錦繡	りょうらきんしゅう	5	目をみはるほど美しいもの。また、美しく着飾ること。
輪廻転生	りんねてんしょう	5	仏教で、人の生きかわり死にかわりしてとどまることのないことをいう。
一張一弛	いっちょういっし	4	厳格にしたり寛大にしたりして人をほどよく扱うこと。
運否天賦	うんぷてんぷ	4	人の運不運は天命による。また、運を天に任せること。
円木警枕	えんぼくけいちん	4	苦勞して一生懸命勉学に励むこと。
街談巷説	がいだんこうせつ	4	世間のつまらないうわさ。⇒街談巷語
確乎不拔	かっこふばつ	4	意志がしっかりとっていて、動じないこと。
閑雲野鶴	かんうんやかく	4	隠士の心境のたとえ。
氣息奄奄	きそくえんえん	4	いまにも滅びそうな苦しいさま。
九鼎大呂	きゅうていたいりよ	4	貴重なもの、重要な地位や名望のたとえ。
曲学阿世	きょくがくあせい	4	学問の真理をまげて、世間や時勢に迎合すること。
举措進退	きよそしんたい	4	日常の立ち居振る舞いのこと。
勤儉力行	きんけんりっこう	4	仕事に励み、儉約し、努力して精一杯行うこと。
君子豹変	くんしひょうへん	4	君子は時の推移に応じて自己変革を遂げ、豹の毛が抜け変わるように鮮やかに面目を一新すること。転じて、節操なく考えや態度をすぐ変えること。
鉤繩規矩	こうじょうきく	4	曲線・直線・円形・直角を書いたり、はかり定めたりする道具。転じて、物事の法則や基準。
荒唐無稽	こうとうむけい	4	言説に根拠がなく、現実性に欠けること。でたらめ。
甲論乙駁	こうろんおつぱく	4	互いに主張しあい、議論がまとまらないこと。
鼓腹擊壤	こふくげきじょう	4	理想的な政治がゆきとどいて、人々が平和な生活をする事。
疾風怒濤	しっふうどとう	4	時代が激しく変化することのたとえ。
杓子定規	しゃくしじょうぎ	4	一つの基準ですべてを決めようとして、応用や融通がきかないこと。
首鼠兩端	しゅそりょうたん	4	どっちつかずの曖昧な態度。
春蛙秋蟬	しゅんあしゅうぜん	4	無用の言論。
純真無垢	じゅんしんむく	4	けがれの無い心を持っていること。
城狐社鼠	じょうこしゃそ	4	権力者のかげに隠れて悪事をはたらく者のたとえ。
芝蘭玉樹	しらんぎよくじゅ	4	すぐれた人材。すぐれた子弟。
簞食瓢飲	たんしひょういん	4	清貧に甘んじるたとえ。
竹頭木屑	ちくとうぼくせつ	4	役に立たないもののたとえ。また、細かなもの、つまらないものでも役立つことがあるのでおろそかにしないこと。
天神地祇	てんしんちぎ	4	天と地すべての神々。
陶犬瓦鶏	とうけんがけい	4	格好ばかりで役に立たないもののたとえ。
徒手空拳	としゅくうけん	4	物事を始めようとするとき、頼れるものがないこと。
麦秀黍離	ばくしゅうしより	4	亡国の嘆きをいう。
拔本塞源	ばっぼんそくげん	4	災いの原因を取り除くこと。
筆耕硯田	ひっこうけんてん	4	文筆で生計を立てること。
眉目秀麗	びもくしゅうれい	4	顔かたちが美しくととのっていること。
伏竜鳳雛	ふくりょうほうすう	4	才能を持ちながら機会がなくで実力を発揮できない者のこと。また、将来が有望な若者のたとえ。
焚書坑儒	ふんしょこうじゅ	4	思想・学問・言論を弾圧すること。
蚊虻走牛	ぶんぼうそうぎゅう	4	小さなものが強大なものを制すること。また、ささいなことが原因となって大事件や災難を引き起こすこと。
碧落一洗	へきらくいっせん	4	大空がからりと晴れわたること。
磨穿鉄硯	ませんてっけん	4	猛烈に勉強すること。
矛盾撞着	むじゅんどうちやく	4	前後がくいちがって論理があわないこと。
容貌魁偉	ようぼうかいい	4	顔つきや体つきがたくましく堂堂としてりっぱなさま。
臨淵羨魚	りんえんせんぎょ	4	いたずらに空しい望みを抱くたとえ。
鱗次櫛比	りんじしっぴ	4	うろこや櫛の歯のように続き並ぶこと。
和光同塵	わこうどうじん	4	自分の才能や徳を隠して、世間に目立たないように暮らすこと。
一目瞭然	いちもくりょうぜん	3	ちょっと見ただけではっきりとわかること。

## 漢字検定準1級(H12, H16~H25, オフィス海) 四字熟語問題出題統計

一碧万頃	いっぺきばんけい	3	青い海や湖などが限りなく広々と広がっているさま。
栄耀栄華	えいようえいが	3	富や権勢を背景にしてぜいたくを極めること。人や家などが大いに栄えること。また、おごりたかぶること。
屋梁落月	おくりょうらくげつ	3	友人を思う情が切なこと。⇒落月屋梁
河山带礪	かざんたいれい	3	永く変わらない堅い誓約のこと。また、国が永遠に栄えること。
嘉辰令月	かしんれいげつ	3	めでたい月日のこと。
活剥生吞	かっぱくせいどん	3	他人の詩や文章などをそのまま盗用すること。
眼高手低	がんこうしゅてい	3	理想は高いが実力が伴わないこと。また、批評はうまいが創作力がないこと。
旧套墨守	きゅうとうぼくしゅ	3	古いしきたりを守り続けること。また、古いしきたりを固く守って融通のきかないこと。
行住坐臥	ぎょうじゅうざが	3	日常の振る舞いのこと。ふだん。つねづね。
卿相雲客	けいしょううんかく	3	公卿と殿上人。身分の高い人。
経世済民	けいせいさいみん	3	世の中を治め、人民を救うこと。
膏火自煎	こうかじせん	3	才があることでかえってわざわざに遭うこのたとえ。
剛毅果断	ごうきかだん	3	意志が強く決断力があること。
克己復礼	こつきふくれい	3	私欲を抑制し、社会の規範や礼儀にかなった行動をすること。
枯木寒巖	こぼくかんがん	3	世俗を超越して無心の境地にあること。
欣求浄土	ごんぐじょうど	3	死後、極楽浄土に行けるように心から願うこと。
金剛不壊	こんごうふえ	3	きわめて堅固でこわれないこと。また、志をかたく守って変えないたとえ。
採薪汲水	さいしんきゅうすい	3	自然の中で簡素な生活を営むこと。
斬新奇抜	ざんしんきばつ	3	物事の着想が独特で、これまでにない新しさを兼ね備えていること。
醇風美俗	じゅんぷうびぞく	3	人情が厚くうわしい風俗や習慣。
情緒纏綿	じょうしよてんめん	3	感情がいつまでもまつわりついて離れないさま。
笑面夜叉	しょうめんやしや	3	顔は笑っていても心の底に一物あること。
清濁併呑	せいだくへいどん	3	度量が大きく、どんなことでも受け入れること。
尺短寸長	せきたんすんちょう	3	どんなにすぐれた人にも短所があり、どんなに劣った人にも長所があるということ。
泰山鴻毛	たいざんこうもう	3	へだたりの甚だしいことのたとえ。
断崖絶壁	だんがいぜつべき	3	険しく切り立ったがけ。
朝盈夕虚	ちょうえいせききょ	3	人生のはかないことのたとえ。
長鞭馬腹	ちょうべんばふく	3	強大な力があっても、思わぬ手近なところに力が及ばないことがあるということ。また、長すぎたり大きすぎて役に立たないこと。
朝蠅暮蚊	ちょうようぼぶん	3	つまらない小人物がはびこるたとえ。
治乱興亡	ちらんこうぼう	3	世の中がよく治まることと、乱れて亡びること。
東窺西望	とうきせいぼう	3	あちこちをちらちら見ること。落ち着きのないさま。
稲麻竹葦	とうまちくい	3	たくさんあることのたとえ。多くの人や物が群がって入り乱れるさま。
菟糸燕麦	としえんぱく	3	有名無実のたとえ。役に立たないもののたとえ。
馬牛襟裾	ばぎゅうきんきょ	3	見識がなく無教養な者のこと。また、無礼な者のこと。
拍手喝采	はくしゅかつさい	3	手をたたいて、おおいにほめたたえること。
白兔赤烏	はくとせきう	3	時間のこと。
破綻百出	はたんひやくしゅつ	3	言動がいかげんで、つぎつぎにぼろを出すこと。
美酒佳肴	びしゅかこう	3	大変すばらしいご馳走のこと。
氷肌玉骨	ひょうきぎょつこつ	3	美しい女性のこと。また、梅の花をいう。
風餐露宿	ふうさんろしゅく	3	野宿をすること。
浮花浪蕊	ふかろうずい	3	取り柄のない平凡なさまのたとえ。
不失正鹄	ふしつせいこく	3	物事の重要な点を正確にとらえること。
釜底抽薪	ふていちゅうしん	3	問題を解決するためには根本の原因を取り除かなければならないというたとえ。
焚琴煮鶴	ふんきんしゃかく	3	殺風景なことのたとえ。
文質彬彬	ぶんしつひんぴん	3	外見の美しさと内面の実質がよく調和していること。
鳴蟬潔飢	めいせんけつき	3	高潔の士はどのようなときにも節操を変えないたとえ。
孟母三遷	もうぼさんせん	3	子供の教育には環境が大切であるというたとえ。
門前雀羅	もんぜんじゃくら	3	訪れる人もなくさびれ果てたさま。
夜郎自大	やろうじだい	3	自分の力量も知らず、偉そうな顔をしていばるたとえ。
相碁井目	あいごせいもく	2	人の実力の差はさまざまで、何をするにも力の差はあるものだということ。

## 漢字検定準1級(H12, H16~H25, オフィス海) 四字熟語問題出題統計

意気軒昂	いきけんこう	2	意気込みが盛んで、奮い立つさま。
一虚一盈	いっきょいちえい	2	あるいはむなしく、あるいは満ちる。常に変化して一定の形を保つことなく測りがたいことのたとえ。
一世木鐸	いっせい(の)ぼくたく	2	世の中の人々を教え導く人のこと。
意馬心猿	いばしんえん	2	煩惱や妄念のために心が乱れ落ち着かないことのたとえ。⇒心猿意馬
因循姑息	いんじゅんこそく	2	古い習慣や方法にこだわって、その場しのぎの手段をとること。また、決断力に欠け、ぐずぐずしてためらうさま。⇒因循苟且
内股膏藥	うちまたこうやく	2	定見がなく、その時の都合であちについたり、こっちについたりすること。
鳥飛兔走	うひとそう	2	歳月がせわしく過ぎ去ること。⇒兔走鳥飛
雲集霧散	うんしゅうむさん	2	たくさんのが雲のようにむらがり集まったり、霧のようにたちまち散ったりすること。
掩耳盗鐘	えんじとうしょう	2	浅はかな考えや知恵で自分を欺くたとえ。
溫柔敦厚	おんじゅうとんこう	2	あたたかさがあり、やさしく手厚いこと。孔子が『詩経』(儒教の基本的古典である五経の一)の教化の力を評した語。
街談巷語	がいだんこうご	2	世間のつまらないうわさ。
鶴髮童顔	かくはつどうがん	2	老いてなお精気盛んなこと。また、そういう人。
画虎類狗	がこるいく	2	才能のない者が本物をまねても、似ているだけで実際は違うものになってしまうということ。
加持祈禱	かじきとう	2	病気や災難などを除くために神仏に祈ること。
瓦釜雷鳴	がふらいめい	2	小人や讒言が用いられるたとえ。また、能もないのにいばりわめくこと。
冠履顛倒	かんりてんとう	2	上下の順序が乱れること。⇒冠履倒易
吉日良辰	きちじつりょうしん	2	縁起のよい日のこと。
玉碎瓦全	ぎょくさいがぜん	2	名誉を重んじて死ぬことと何をなすこともなく生きながらえること。
魚網鴻離	ぎょもうこうり	2	求めるものとは違うものが得られるたとえ。
錦心繡口	きんしんしゅうこう	2	詩や文章の才能にすぐれていること。
荆妻豚兒	けいさいとんじ	2	自分の妻と息子のことを謙遜するという語。
繫風捕影	けいふうほえい	2	雲をつかむようなとりとめなくあてにならないたとえ。
犬牙相制	けんがそうせい	2	国境が入りこんでいて、たがいに牽制しあうこと。
光彩陸離	こうさいりくり	2	美しい光が、まばゆいばかりに輝くさま。
宏大無辺	こうだいむへん	2	限りなく広くて大きいこと。
孝悌忠信	こうていちゅうしん	2	真心をつくして、目上の人によく仕えること。
古色蒼然	こしょくそうぜん	2	見るからに古めかしく、趣のあるさま。
胡馬北風	こばほくふう	2	故郷を懐かしむたとえ。
蚕食鯨吞	さんしょくげいどん	2	大国が弱小国を侵略・併合していくこと。
師資相承	ししそうしょう	2	師の教えを受け継ぐこと。また師から弟子へ学問・技術などを受け継いでいくこと。
寂滅為楽	じゃくめついらく	2	迷いから解放された悟りの境地に、真の安楽があるということ。
秋風落莫	しゅうふうらくぼく	2	勢いが衰えてものさびしいさま。⇒秋風索莫
熟読玩味	じゅくどくがんみ	2	文章の意味をじっくり考えて読み味わうこと。
出处進退	しゅつしよしんたい	2	現在の職にとどまるか辞めてしまうかという身のふり方。
舜日堯年	しゅんじつぎょうねん	2	天下太平で盛んな世の中。
純情可憐	じゅんじょうかれん	2	すなおで邪念がなく清らかで愛らしい。
參差錯落	しんしさくらく	2	ふぞろいな物が入り混じっているさま。
杜撰脱漏	ずさんだつろう	2	粗末で誤りの多いこと。ぞんざいで誤脱も多いこと。
碩学大儒	せきがくたいじゅ	2	学問の奥義をきわめた大学者のこと。
折衝禦侮	せつしょうぎよぶ	2	武勇によって敵をくじき、敵の侮りを防ぎとめ恐れさせる。
旋乾転坤	せんけんてんこん	2	国の政局を一新すること。
前虎後狼	ぜんここうろう	2	つぎつぎと災難・危害におそわれるたとえ。
甌塵釜魚	そうじんふぎよ	2	非常に貧しいことのたとえ。
多岐亡羊	たきぼうよう	2	方針が多すぎて選択に迷うたとえ。
断簡零墨	だんかんれいぼく	2	ちょっとした書き物や、書き物のきれはし。
朝秦暮楚	ちようしんぼそ	2	住所が定まらず放浪することのたとえ。また、節操なく主義主張が常に変わるたとえ。
通曉暢達	つうぎょうちようたつ	2	ある事柄を詳しく知りぬいてのびやかであること。
鉄網珊瑚	てつもうさんご	2	すぐれた人物や珍しい物を探し求めること。
天壤無窮	てんじょうむきゆう	2	天地とともに永遠に続くこと。
桃李満門	とうりまんもん	2	優秀な人材が多く集まること。

## 漢字検定準1級(H12, H16~H25, オフィス海) 四字熟語問題出題統計

土崩瓦解	どほうがかい	2	物事が根底から崩れ、もはや手のほどこしようもない状態のこと。
杯酒解怨	はいしゅかいえん	2	互いに酒を酌み交わし心からの会話を通して怨みやわだかまりを忘れる。
白虹貫日	はくこうかんじつ	2	真心が天に通じること。また、兵乱が起こり危機が迫る兆候のこと。
博聞彊識	はくぶんきょうしき	2	広く書物を読んで、物事をよく記憶していること。見聞が広く、かつよく記憶していること。
波濤万里	はとうばんり	2	遠い外国のこと。
万頃瑠璃	ばんけいるり	2	青く広々しているさま。
槃根錯節	ばんこんさくせつ	2	事柄が入り組んで、解決が困難なこと。
披星戴月	ひせいたいげつ	2	朝早くから夜遅くまで一生懸命働くこと。
飛鷹走狗	ひようそうく	2	狩猟をすること。
並駕齊驅	へいがせいく	2	力や能力に差がないこと。
平談俗語	へいだんぞくご	2	日常の会話で使われるごくふつうの言葉。
放蕩無頼	ほうとうぶらい	2	酒色にふけり、身をもちくずすこと。
煩惱菩提	ぼんのうぼだい	2	煩惱は悟りの縁であること。
名声赫赫	めいせいかくかく	2	よい評判が盛んにあがること。
明哲保身	めいてつほしん	2	聡明で事理にくわしい人は危険を避けて身の安全を保つこと。また、賢く世に処して自分の地位を守ること。
名誉挽回	めいよばんかい	2	失敗して落ちた信用や名声をその後の行いでとりもどすこと。
問鼎輕重	もんていけいちょう	2	その人の権威・実力を疑うこと。
融通無礙	ゆうずうむげ	2	行動や思考がものにとらわれずのびのびしていること。
妖怪変化	ようかいへんげ	2	人間には理解できないふしぎな化け物。
用管窺天	ようかんきてん	2	視野や見識が狭いことのたとえ。
鷹視狼歩	ようしろうほ	2	猛々しく食欲で残忍な人物のたとえ。また、勇猛ですきを与えない豪傑のたとえ。
落雁沈魚	らくがんちんぎょ	2	はなやかな美人の形容。⇒沈魚落雁
李下瓜田	りかかでん	2	人に疑われるようなことはしないほうがよいというたとえ。
六莖十菊	りくしょうじゅうぎく	2	時期が過ぎて役に立たないことのたとえ。
良禽扱木	りょうきんたくぼく	2	かしこい人物は自分の仕える主人をよく吟味して仕官するものであるということ。
竜章鳳姿	りょうしょうほうし	2	すぐれて立派な容姿をいう。
老萊斑衣	ろうらいはんい	2	親孝行のたとえ。親に孝行のかぎりをつくすことのたとえ。
六根清浄	ろっこんしょうじょう	2	欲や迷いから脱け出て、心身が清らかになること。
論功行賞	ろんこうこうしょう	2	功績の有無や大きさの程度を調べ、それに応じてふさわしい賞を与えること。
哀鴻遍野	あいこうへんや	1	いたる所に戦いに敗れた兵士やさまよう難民がいるさま。
阿世曲学	あせいきよくがく	1	学問の真理をまげて、世間や時勢に迎合すること。⇒曲学阿世
暗中摸索	あんちゅうもさく	1	手掛かりがないままに、あれこれとやってみること。
有象無象	うぞうむぞう	1	形があるものないものすべて。森羅万象。転じて、数が多いが種々雑多なつまらない人や物。
雲竜井蛙	うんりょうせいあ	1	地位の上下や賢愚の差のはなはだしいことのたとえ。
永劫回帰	えいごうかいき	1	同じものが永遠に繰り返してくる。生の絶対的肯定をいうニーチェ哲学の根本思想。
横説豎説	おうせつじゅせつ	1	自由自在に弁舌をふるうこと。
遠塵離垢	おんじんりく	1	仏教で、現世での迷いを断ち切ること。
瓦鷄陶犬	がけいとうけん	1	格好ばかりで役に立たないもののたとえ。⇒陶犬瓦鷄
禾黍油油	かしょゆうゆう	1	物が勢いよくみごとに生長するさま。
河凶洛書	かとらくしよ	1	めったに手に入れることができない凶書のこと。
臥竜鳳雛	がりょうほうすう	1	才能を持ちながら機会がなくて実力を発揮できない者のこと。
含飴弄孫	がんにろうそん	1	老人が気楽に隠居生活をする事。
鬼斧神工	きふしんこう	1	人間わざとは思えないほどすぐれた細工や作品のこと。⇒神工鬼斧
泣血漣如	きゅうけつれんじょ	1	非常に悲しみ涙が止めどもなく流れるさま。
鳩首協議	きゅうしゅきょうぎ	1	額をつきあわせて熱心に相談すること。⇒鳩首凝議
窮鼠噬猫	きゅうそごうびょう	1	弱者も追いつめられて必死になれば、強者に思いもよらない力で抵抗し勝つこともあるというたとえ。
彊食自愛	きょうしょくじあい	1	つとめて食事を取って体を大切にすること。
堯風舜雨	ぎょうふうしゅんう	1	堯帝や舜帝の恵みや恩沢を雨や風にたとえていう語。転じて、太平の世をいう。
金烏玉兔	きんうぎよくと	1	日と月のこと。特に月日の速く過ぎる意に用いる。
禽困覆車	きんこんふくしゃ	1	弱者もせつぱつまると、とてつもない大きな力を出すということ。

## 漢字検定準1級(H12, H16~H25, オフィス海) 四字熟語問題出題統計

狗馬之心	くばのこころ	1	上位の者への忠誠心のこと。
月卿雲客	げっけいうんかく	1	公卿と殿上人。身分の高い人。⇒卿相雲客
牽衣頓足	けんいとんそく	1	つらい別れを惜しむようす。
綱拳網疏	こうきょうもうそ	1	大綱を挙げて細目をあらくする。おおもとをつかむことに意を用いて末節にはこだわらないこと。
紅毛碧眼	こうもうへきがん	1	西洋人のこと。
衡陽雁断	こうようがんだん	1	音信が絶えることのたとえ。
五穀豊穰	ごこくほうじょう	1	穀物がよく実ること。
狐死首丘	こししゅきゅう	1	故郷を忘れないたとえ。また、物事の根本を忘れないたとえ。
才子佳人	さいしかじん	1	非常にすぐれた男と女。
山河襟帯	さんがきんたい	1	自然の要害のこと。
三者鼎立	さんしゃていりつ	1	三者が分かれて並び立つこと。
紫幹翠葉	しかんすいよう	1	山の木々がみずみずしく美しいさま。
只管打坐	しかんたざ	1	雑念をすててひたすら座禅すること。
七堂伽藍	しちどうがらん	1	七つの堂のそろった寺。
積根灌枝	しゃくこんかんし	1	大切でない部分に心を奪われて、物事の根本を忘れること。また、本質的な原因を探求しないで結果だけを問題にすること。
衆醉独醒	しゅうすいどくせい	1	周囲の人はみな道はずれており、自分だけが正しいということ。
昭穆倫序	しょうぼくりんじょ	1	廟の昭穆には一定の序列があること。
趨炎附熱	すうえんふねつ	1	時の権力のある者につき従うこと。
凄凄切切	せいせいせつせつ	1	きわめてものさびしいこと。
積善余慶	せきぜんのよけい	1	善行を積んだ家は子孫まで必ず幸福がおよぶ。
舌端月旦	ぜったんげったん	1	口先で人を評論すること。
全豹一斑	ぜんびょういっばん	1	物事の一部を見て全体を批評すること。
草茅危言	そうぼうきげん	1	民間人の国政に対するきびしい批判の声。
粗酒粗餐	そしゅそさん	1	粗末な酒と食事のこと。
長身瘦軀	ちょうしんそうく	1	背が高く痩せていること。
朝穿暮塞	ちょうせいぼそく	1	建築・造営が頻繁であることのたとえ。
打打発止	ちうちょうはっし	1	激しく議論をたたかわしあうさま。
凋氷画脂	ちようひょうがし	1	苦勞して効果のないたとえ。力を無用なところに用いるたとえ。
天香桂花	てんこうけいか	1	月の中にあるという桂の花。
点滴穿石	てんてきせんせき	1	わずかな力でも積み重なると非常に大きな力を発揮すること。
天網恢恢	てんもうかいがい	1	天は公平で決して悪人・悪事を見のがさないということ。
堂塔伽藍	どうとうがらん	1	寺院の建物の総称のこと。
党同伐異	とうどうばつい	1	善悪・正否の関係なしに、同じ党派の者に味方し、他の党派のものを排斥すること。
投桃報李	とうとうほうり	1	善に対して善で報いることのたとえ。
函南鵬翼	となんのほうよく	1	大事業や海外雄飛を企てることのたとえ。
敦篤虚静	とんとくきょせい	1	人情に厚くて心にわだかまりがなく、静かに落ち着いていること。
梅妻鶴子	ばいさいかくし	1	俗世を離れた清らかで風雅な隠遁生活のたとえ。
幕天席地	ばくてんせきち	1	小さいことにこだわらないこと。また、志の大きいこと。
破釜沈船	はふちんせん	1	生還を考えず、決死の覚悟で出陣すること。
飛兔竜文	ひとりょうぶん	1	すぐれた子供のたとえ。
百歩穿楊	ひゃっぼせんよう	1	射撃の技術がすぐれていること。
氷壺秋月	ひょうこしゅうげつ	1	心がたいへん清く明らかであることのたとえ。
片言隻句	へんげんせきく	1	わずかな言葉。ほんのひと言ふた言。
偏僻蔽固	へんぺきへいこ	1	道理に暗く考えがたよって、かたくななこと。
報怨以德	ほうえんいとく	1	自分に怨みをもつ人に愛情をもって接し、恩恵を与えること。
方底円蓋	ほうていえんがい	1	物事がくいちがって合わないことのたとえ。
蓬頭垢面	ほうとうこうめん	1	身だしなみが悪く、むさくるしいさま。
満腔春意	まんこうしゅんい	1	全身になごやかな気分が満ちていること。
名詮自性	みょうせんじしょう	1	名はそのものの本質を表すということ。
夢幻泡影	むげんほうよう	1	人生がはかないことのたとえ。

## 漢字検定準1級(H12, H16~H25, オフィス海) 四字熟語問題出題統計

百舌勘定	もずかんじょう	1	うまいことを言っただけが得をするような勘定のしかた。
冶金踊躍	やきんようやく	1	自分が置かれている立場に安んじることができないたとえ。
妖言惑衆	ようげんわくしゅう	1	あやしげなことを言いふらして多くの人を惑わせること。
揚眉吐気	ようびとき	1	やるべき事を成し遂げて喜ぶさま。
抑揚頓挫	よくようとんざ	1	勢いが途中でくじけること。
雷轟電転	らいごうでんてん	1	町中の喧騒の激しいことのたとえ。
蘭桂騰芳	らんけいとうほう	1	蘭や桂が香りたつ。子孫が繁栄することのたとえ。
麟子鳳雛	りんしほうすう	1	麒麟の子と鳳凰のひな。前途有望な子のたとえ。